

年頭のごあいさつ



神崎町長
石橋 輝一

道の駅を

まちづくりの拠点に

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては健康やかな新春をお迎えのことと、お喜び申し上げます。

昨年中は町政全般にわたり、深いご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

さて、国土交通省から地域創生の核となる『重点道の駅』に選定

されております「発酵の里こうざき」は、町の活性化の拠点として、

昨年、農林水産省の農山漁村おみやげ農畜産物販売促進事業を活用し、手狭であった新鮮市場棟を移転新築し、連日町内外から多くの皆様にご来場いただいております。

また、インター周辺整備については、国、県、警察などの関係機関と協議会を発足しており、隣接

するパーキングエリアの設置を国に要望中であります。

教育・福祉関係では、昨年から高校生までの医療費やインフルエンザ予防接種費用の助成を実施しております。

保育園児及び小中学生への給食費全額助成、出産時・小学校入学時の子育て支援費支給や、18歳未満の第3子以降の保育料無料化を継続し、より充実した子育てしやすい環境の整備に努めるとともに、高齢者の方への支援も引き続き実施します。

その他、町民の皆様の利便性向上をはかるため、昨年12月18日から、

マイナンバーカードを利用して住民票・印鑑証明のコンビニでの交付が始まりました。さらに本年4月から、

町税等（住民税・固定資産税・軽自動車税・国民健康保険税・後期高齢者医療保険料・介護保険料）がコンビニで納付できるようになります。

町民の皆様が、安全で安心できる暮らしを守りながら、次世代に誇れるようなまちづくりを、今後も進めてまいります。

皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。



神崎町議会議長
寶田 久元

町民とともに

創生を

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様には、輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は町議会に対し、深いご理解と温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

私は、昨年8月に2度目の議長に就任しました。今までの経験を

生かし、議長職を務めていきたいと思っております。

さて、平成の大合併から10年以上が経ち、神崎町は合併をせず、千葉県一小さな町になり、当初は財政的に不安でしたが、現在では財政調整基金（町の貯金）が12億円と、健全財政を守っております。

国内においては、昨年の総選挙で、安倍首相率いる自民党が大勝

し、アベノミクスの景気浮揚策により株価が上昇し、雇用状況も改善の兆しがみられてきています。また、昨年は九州北部豪雨をはじめ、各地で甚大な自然災害が発生し、改めて災害の恐ろしさを痛感した年でもありました。

海外においては、アメリカではトランプ氏が大統領に就任して、過激な言動が話題となり、北朝鮮によるミサイルが日本上空を脅かし、世界各地でテロ事件が多発した年でもあり、日本を取巻く環境は目が離せない状況になっています。

そのような中、少子高齢化の波は

本町にも到来しており、高齢化率は25%を越え、今まさにまちづくりのあり方そのものが大きく問われております。

議会としても、地域の活性化や移住・定住対策への取組みは重要な課題であり、町民の方々が改めて子育てや生活に活力を感じ、住みよいまち、住み続けたいまちと思えるまちづくりに努力してまいります。

結びに、町民の皆様のご多幸とご健勝をお祈りするとともに、町民の皆様が力を合わせ、明るく活力あるまちづくりに参画下さるようお願いし、新年のご挨拶といたします。